

メロン

担当者 技能研究員 泉谷 雅俊

試験課題名	品種系統選定試験
目的	本町に適した多収・高品質の品種を選定するため比較検討し普及に資する
期待される成果	優良品種の導入により、生産の安定と経済性の向上を図る
連携機関	上川農業改良普及センター士別支所 JA北ひびき和寒基幹支所 和寒町蔬菜組合連合会果菜部会

1 供試品種・資材

品種

青肉 ※ 摩周グリーン (ヤエ) クレア (ウエキ) シャロン2号 (ナント)
キングメルティー (サッポロ) G-602 (大学)
『赤肉 R-4 (大学) ルピアレッド (みかど交配) 参考調査』
※基準品種

2 耕種概要

土質 ~ 埴壤土

前作 ~ メロン

播種日 ~ 3月24日 定植日 ~ 5月9日 収穫始日 ~ 8月8日

栽植密度 ~ 畦幅2m × 株間70cm 714株/10a当たり

3 土壌診断結果と施肥量

(1) 土壌診断結果

(mg/100g)

pH	EC	P ₂ O ₅	K ₂ O	MgO	CaO	熱水抽出N
5.9	0.048	43.3	44.6	43.4	207	7.4

(2) 土改資材と堆肥 (kg/10a)

エコランカル ~ 100kg (成分 アルカリ度 50.0% 窒素 1.0%) 堆肥 ~ 2,000kg

(3) 施肥内容 (kg/10a)

基肥 ~ 北の八光 (4 - 6 - 2) 4月26日 全層施肥

葉面散布 ~ アミリン特号 (1,000倍/3回散布) 7月6日・7月13日・7月19日

(4) 肥料の要素量

(kg/10a)

			N	P	K
基肥	北の八光	300kg	12.0	18.0	6.0
合計			12.0	18.0	6.0

4 調査項目

生育調査 ~ 播種日・発芽期・発芽率・定植日・定植時の苗質・初期生育(5月24日)
草勢・開花始期・着果日・着果率・着果部位

収量調査 ~ 収穫始期・成熟日数・1果実重量・総収量・果高・果径・赤道・肉厚
花痕部径・規格別割合

果実特性調査 ~ 裂果・腐敗果・小果他・ネット不良果・ネットの密度・糖度(Brix)
香り強さ・果肉の硬さ・食味・甘味

5 生育調査

項目	品種	摩周グリーン	クリア	シャロン2号	キングメルティ	G-602	R-4	ルピアレッド
播種日		3月24日						
発芽期		4月9日	4月9日	4月9日	4月9日	4月9日	4月10日	4月10日
発芽率(%)		98	100	97	96	97	100	100
定植日		5月9日						
定植時の苗質	葉数	3.4	2.8	4.3	4.0	3.1	3.2	4.0
	葉身長(cm)	9.8	10.0	9.5	9.6	9.3	7.9	9.1
初期生育5月24日	つる長(cm)	15.2	15.6	15.3	17.3	16.0	15.1	16.0
	葉数	4.2	4.1	4.2	4.4	4.3	4.2	4.3
草勢(強5~弱1)		3	3	2	4	3	2	3
開花始期		6月12日	6月13日	6月12日	6月11日	6月12日	6月12日	6月12日
着果日		6月20日	6月20日	6月21日	6月20日	6月20日	6月20日	6月21日
着果率(%)		100	100	100	100	100	100	100
着果節位(1果目)		10.0	8.3	13.7	15.7	9.3	15.7	9.7

6 収量調査

項目	品種	摩周グリーン	クリア	シャロン2号	キングメルティ	G-602	R-4	ルピアレッド
収穫始期(40~50%)		8月8日						
成熟日数		57	57	58	57	57	57	58
果実重量(kg/一果重)		1.9	2.1	1.8	1.7	1.8	2.7	1.7
総収量(kg/10a)		5,426	5,998	5,141	4,855	5,141	7,711	4,855
果高(cm)		15.9	17.0	15.5	17.1	14.4	20.1	15.1
果径(cm)		15.2	15.7	15.1	14.2	15.1	16.0	15.1
赤道(cm)		2.0	2.4	2.5	2.8	2.3	3.0	2.1
肉厚(cm)		4.3	4.3	4.4	4.5	4.4	4.9	4.1
花痕部径(cm)		2.4	3.2	3.4	2.9	3.7	5.2	2.4
規格別割合(%)	4玉	0	80	0	0	0	100	0
	5玉	90	20	100	100	100	0	100
	6玉	10	0	0	0	0	0	0
	7玉	0	0	0	0	0	0	0

※規格 4玉 2.0kg以上 5玉 1.6~2.0kg 6玉 1.3~1.6kg 7玉 1.0~1.3kg

7 特性調査

項目	品種	摩周グリーン	クリア	シャロン2号	キングメルティ	G-602	R-4	ルピアレッド
外観	裂果(%)	0	0	0	0	0	0	0
	腐敗果(%)	0	0	0	0	0	0	0
	ネット不良果(%)	0	0	10	10	10	0	0
	小果他(%)	0	0	0	0	0	0	0
	ネットの密度(多5~少1)	3	4	2	2	2	3	3
	糖度(Brix)	14.3	15.7	18.3	13.8	14.7	9.5	14.5
食味	香り強さ(強5~弱1)	3	2	2	3	2	2	2
	果肉の硬さ(硬5~軟1)	3	3	3	2	3	2	3
	食味(良5~不良1)	3	3	3	3	2	2	3
	甘味(良5~悪1)	3	3	3	3	2	3	3

8 病害虫防除履歴

殺菌剤			殺虫剤		
5月 9日	ダコニール1000乳剤	1,000倍	6月29日	マブリック水和剤20	4,000倍
6月29日	アミスター20フロアブル	2,000倍	8月 3日	アディオン乳剤	2,000倍
8月 3日	ダコニール1000乳剤	1,000倍			

9 試験結果概要

(1) 生育経過

- ① 3月24日に12cmポットにポットエースを充填し播種、発芽後の生育も順調に推移し、5月9日定植を実施した。苗質の葉身長はクレアが10.0cm、摩周グリーン 9.8cm、シャロン2号 9.5cm、葉数ではシャロン2号が4.3枚、基準品種の摩周グリーンは3.4枚でクレアが2.8枚とやや少なかった。
- ② 整枝は各品種とも本葉5枚で摘芯、子づる 2本仕立てとした。
5月24日の生育調査では、摩周グリーンの葉数 4.2枚、つる長 15.2cmであったが、キングメルティーの葉数は4.4枚、つる長 17.3cmでG-602とルピアレッドとともに初期生育が良好であった。
- ③ 開花は6月11日にキングメルティーが始まり、摩周グリーン他品種は12日で、クレアの開花は2日遅れて13日となった。摩周グリーンの着果は開花後8日目の6月20日で各品種とも大きな差は見られなかった。
着果節位(1果目)は摩周グリーンが10.0節であったが、キングメルティーとR-4が15.7節になり、クレアは8.3節であり、品種の特性が出たものと思われる。

(2) 収量調査結果

- ① 8月8日に全品種の収量及び品質調査を実施した。成熟日数は、シャロン2号とルピアレッドが58日で、摩周グリーン他品種は1日早い57日となった。
- ② 青肉のネット密度は基準品種の摩周グリーンが3(多5～少1)に対し、クレアは4でネットの発生が良好であった。
- ③ 基準品種の摩周グリーンの1果重量は1.9kg、10a当たり収量 5,426kgとなったが、青肉ではクレアが一番大玉で2.1kg、シャロン2号・G-602が1.8kg、キングメルティー 1.7kgであった。赤玉のR-4は2.7kgでルピアレッドは1.7kgという調査結果となった。
- ④ 糖度は摩周グリーンが14.3度に対して、シャロン2号は18.3度で最も高く、続いてクレアが15.7度と良好であった。G-602は14.7度で基準品種の摩周グリーンに近い結果となった。赤肉のルピアレッドの糖度は14.5度であったが食味は良好であった。

(3) 考察

全品種、蜜バチを利用したことで着果率は100%と良かった。1果目の着果は、クレア 8.3節、G-602が9.3節であったが、他の5品種の平均は12.9節という悪い結果となった。

基準品種の摩周グリーンに対して、収量はクレアが5,998kg/10aと高く、ネットの密度 4(多5～少1)、糖度 15.7(Brix)で、食味も摩周グリーンと同様に評価が高く、ハウスの無加温半促成栽培にも期待できる試験結果となった。